

8 沿 革

年 月	主 な で き ご と
昭和 55 年 11 月 (1980)	広島県の婦人の地位向上と社会参加を促進するための組織を結成するための第 1 回発起人会
昭和 56 年 4 月 (1981)	「広島県の婦人の地位向上と社会参加をすすめる会」発足 (以下：すすめる会)
昭和 58 年 10 月 (1983)	婦人総合センター建設について知事に要望書提出 (すすめる会)
昭和 60 年 4 月 (1985) 6 月 7 月	婦人総合センター建設についてプロジェクト会議設置 (すすめる会) 婦人総合センター基本構想策定委員会設置 (広島県) 婦人総合センター基本構想について協議 (すすめる会)
昭和 61 年 3 月 (1986) 5 月 6 月 8 月 9 月	婦人総合センター基本構想決定 (広島県) 婦人総合センター管理運営のための財団法人設立基金の募金について合意 (すすめる会) 財団法人設立基金募金について実施要綱決定 (すすめる会) 婦人総合センター設計委託, 地質調査実施 (広島県) 婦人総合センター整備事業推進会議設置 (広島県) 財団法人設立募金委員会発足 (すすめる会)
昭和 62 年 3 月 (1987) 8 月	広島県, 広島県歯科医師会, 広島県国民健康保険団体連合会, 広島県住宅供給公社の 4 者で婦人総合センター建設工事契約 婦人総合センター建設工事着工
昭和 63 年 3 月 (1988) 4 月 7 月 8 月 9 月	新設財団法人基本財産として 3,000 万円の出資を決定 (広島県) 新設財団法人基本財産として 1,000 万円の出資を決定 (広島県婦人団体連絡協議会) 新設財団法人基本財産として 2,100 万円の出資を決定 (すすめる会) 財団法人広島県女性会議設立発起人会 財団法人 6,100 万円の基本財産受入れ 広島県知事から財団法人の設立許可 財団法人広島県女性会議第 1 回理事会 婦人総合センターの愛称を「エソール広島」に決定

年 月	主 な で き ご と
平成元年 3月 (1989) 4月 9月	「エソール広島」落成式 「エソール広島」オープン記念行事 ひろしま女性大学人材養成課程・通信課程開講
平成2年 4月 (1990) 10月	「エソール広島」オープン1周年記念行事 広島県女性海外派遣事業（インドネシア，タイ）
平成3年 10月 (1991)	広島県女性海外派遣事業（マレーシア，タイ）
平成4年 6月 (1992) 10月	財団法人広島県女性会議の基本財産 1,300万円増額（総額 7,400万円） 附帯事業関係（会議室使用料金，レストラン，ホテル等）料金改定 「留学生コーナー」がひろしま国際センターへ移転 広島県女性海外派遣事業（インドネシア，シンガポール）
平成5年 9月 (1993)	ひろしま女性大学人材養成課程を広島校・福山校として開講 広島県女性海外派遣事業（中国，韓国）
平成6年 4月 (1994) 10月	「エソール広島」オープン5周年記念行事 エソール広島国際交流事業～アジアからの女性を迎えて （韓国，インドネシア，タイの女性を招待）
平成7年 8月 (1995)	広島県女性海外派遣事業（第4回世界女性会議・中国北京市）
平成8年 5月 (1996) 10月	ひろしま女性大学備北講座開講（12年度まで） エソール広島国際交流事業～女と男のパートナーシップ （中国，シンガポール，タイの女性を招待）
平成9年 5月 (1997) 5月	エソール広島国際交流事業～ハワイ州に10名派遣 （広島県とハワイ州友好提携調印式，記念祝賀会，ハワイ州女性団体との交流） ひろしま女性未来会議発足
平成10年 10月 (1998)	エソール広島開館10年記念事業（エソールフェスティバル） （ベアテ・シロタ・ゴードン講演，ハワイ州女性団体招待，エソール女性議会等）
平成11年 7月 (1999)	男女共同参画推進21世紀基金創設
平成12年 4月 (2000) 10月 11月	就業援助事業の直轄運営 ホームページ開設 ひろしま女性いきいき講座開講 男女共同参画社会づくり啓発パネル制作 広島県女性海外派遣友の会がハワイ州の女性団体を訪問

年 月	主 な で き ご と
平成13年 3月 (2001) 7月	ITフォーラム開催（広島市，東広島市） 女性のためのIT教室開設（17年度まで） 地域入門講座開講 地域活動団体の育成・支援事業開始
平成14年 3月 (2002) 4月 7月 11月	広島県男女共同参画推進条例制定記念フォーラムの開催 付帯サービス部門の直営化 エソール広島映画祭の開始（「平塚らいてうの生涯－元始，女性は太陽であった－」） 一日エソール開講（15年度まで）
平成15年 4月 (2003) 10月	レストラン「ステラ」のリニューアル・オープン メンタルサポーター養成講座開講
平成16年 3月 (2004) 4月 7月	9階客室改修工事 在宅ワーク支援センター広島に名称変更（旧：就業援助センター） 在宅ワーク支援センター福山開設
平成17年 1月 (2005) 1月 4月	1階ロビーに無料のエソール広島展示コーナーを開設 在宅ワーク支援の一環として県から発注企業特別開拓事業を受託 メンタルサポーター養成講座において聴講制度を設置 研修受託事業開始
平成18年 5月 (2006) 6月 10月	メールマガジンの発行開始 「ひろしま女性大学」及び「ひろしま女性いきいき講座」を改変し発展させた新大学の名称を「エソールひろしま大学」に決定 男性対象講座開始 エソールひろしま大学基礎講座開講
平成19年 3月 (2007) 4月 6月 10月	インターネット通信講座開始 レストラン「ステラ」を外部委託し，リニューアル・オープン エソールひろしま大学応用講座開講 エソールひろしまフォト・川柳コンテスト実施 エソールひろしま大学専科開講
平成20年 2月 (2008) 3月 4月 5月 10月	ホームページ内にチャレンジサイトを開設 在宅ワーク支援事業（県委託）終了 在宅ワーク支援事業を自主事業とし，支援センター福山を広島に統合 全国女性会館協議会より「女性のためのパソコン講座」受託 エソール広島20周年記念事業「エソール祭」開催

年 月	主 な で き ご と
平成21年 6月 (2009) 10月 11月	「デートDV相談」受付開始 「エソールひろしま大学」基礎講座 リニューアル 全国女性会館協議会より「女性のためのパソコン講座地域展開事業」受託
平成22年 4月 (2010) 7月 10月 23年 1月	全国女性会館協議会より「女性のためのパソコン講座」受託 「エソールひろしま大学」応用講座リニューアル 「女性のためのチャレンジ相談」受付開始 広島県より「在宅ワーク発注企業開拓事業」受託 「エソールひろしま大学」専科リニューアル
平成24年 3月 (2012) 4月	ホテルエソール広島宿泊事業部門を貸事務室に変更 広島県より「働く女性のための就業継続応援事業」を受託 附帯サービス部門を営業課に名称変更
平成25年 3月 (2013) 4月 7月	広島県知事から公益財団法人移行の認定 公益財団法人広島県男女共同参画財団に名称変更 公益財団法人の基本財産の額を 6,100 万円に決定 「働く女性のネットワーク会議」を開催（広島県受託事業）
平成26年 2月 (2014) 6月	「女性活躍促進シンポジウム」を開催（広島大学受託事業） 広島県より「女性の活躍促進事業」を受託
平成27年 3月 (2015) 4月 9月 11月	「在宅ワーク支援センター」の休止 広島県より「メンター養成講座事業」を受託 広島県より「子育て支援員研修事業」を受託 「在宅ワーク支援センター」の廃止
平成28年 2月 (2016)	広島大学から「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）セミナー」を受託